

# Life Focus

## ひとりの人間と向き合う

ホームに入居された方は  
“属性”で見られてしまうことがあります  
たとえば「88歳／車イス／要介護2の女性」だったりです  
ただそれは 私たちは違うと思っています  
そこにいらっしゃるのには 88年間生きてこられた  
ひとりの人間なのです  
それを見失わないために 私たちは  
これまでの人生 そこを深く理解する  
その点を大事にしています

## 「これまでの人生」を知る

私たちは「ライフアセスメント」といって  
その方の人生をいろいろとお伺いします  
その方が若い頃 どんなお子さんだったのか  
奥様とどんな風に出会われたのか  
どんなお仕事をされていて どんなことを大事にされてきたのか  
そういうことをご本人であったり  
ご家族にいていないとお伺いしています  
私たちスタッフも人ですから その方のことを知れば知るほど  
その方に対しての想いが深まりますし

その方らしさを知ること  
ホームでのその方らしい時間や生活を  
サポートする意識も高まっています

### あきらめなくていい

どんな方にも 人生で大切にされてきたことが  
あるはずです  
でも さまざまな理由から  
お身体が不自由になるなどで  
本当にしたいこと やりたいことをあきらめてしまっている  
そういうケースが多くあります  
たとえば 今でも本当はこういうことがしたい  
またあそこに行って あの食事が食べたいとか  
そういう想いがあるのならば  
何とかして私たちは それを実現して差し上げたい  
ホームに入ったからといって  
大切にしてきたことを あきらめる必要はないのです

### “Life Focus”とは？

ご入居者が歩んでこられた これまでの人生を深く理解し  
それをスタッフ間で共有して  
ホームでその方らしく過ごせるよう

チーム体制でご入居者を支える  
それが“Life Focus”です  
集団生活が前提のホームで  
果たしてそんなことができるのか  
そのようによく言われます  
たしかに スタッフ個々の想いに頼っていたらむずかしい  
でも私たちには それを実現するための  
仕組みがあります

### 続かなければ意味がない

私たちのホームでは 月に2回 ※「ソナーレ・アテリア」シリーズは月1回  
スタッフが 担当するご入居者とじっくり向き合う日を設けています  
“Life Focus の日”というのですが  
スタッフはこの日 一切の日常業務から外れて  
担当するご入居者に深く寄り添います  
この仕組みがあるからこそ 持続的に  
ご入居者の“Life Focus”を実現できるのです  
“Life Focus”は一度きりのイベントではありません  
持続可能でなければ意味がないのです

### 劇的に変わる

“Life Focus”の取り組みを進めることで

ご入居者のご様子がはっきり変わることがあります  
また昔のようにお洒落をして あの喫茶店に出かけたい  
孫の結婚式に出て 一緒に写真が撮りたい  
“Life Focus”で叶えたいことはご入居者それぞれですが  
夢や目標を持つことで  
人は劇的に変わることもめずらしくありません  
ふさぎこんでいた方も目がキラキラしてきますし  
認知症の方も昔の記憶 幸せな時間に触れることで  
周辺症状が緩和されることもあります

### 過去・現在・未来をつなぐ

人は 過去と現在と未来を生きています  
そして私たちは ご入居者の過去を理解し  
今に寄り添い  
その方に合ったふさわしい未来を  
ご提案したいと思っています  
ご入居者には 最期までご自分らしく生きていただきたい  
過去と現在と未来をつなぐ“Life Focus”は  
ご入居者の方らしく生きるために必要なことだと  
私たちは考えています